

JANコード

JANコードには、標準タイプ（13桁）と短縮タイプ（8桁）の2つの種類があります。

さらに標準タイプには、最初の7桁がJAN企業コードとなっているものと、9桁がJAN企業コードとなっているものに分けられます。

標準タイプ（13桁）

A：7桁JAN企業コード



- ①：JAN 企業コード（7桁）
②：商品アイテムコード（5桁）
③：チェックデジット（1桁）

B：9桁JAN企業コード



- ①：JAN 企業コード（9桁）
②：商品アイテムコード（3桁）
③：チェックデジット（1桁）

短縮タイプ（8桁）



- ①：JAN 企業コード（6桁）
②：商品アイテムコード（1桁）
③：チェックデジット（1桁）

※ 短縮タイプは、以下の条件を満たしている場合に貸与されます。

- すでに標準タイプのJAN企業コードの貸与を受けていること。
- 標準タイプのJANコードでは、ソースマーキングできない小さな商品の予定があること。

デザイン上の希望で短縮タイプのJAN企業コードの貸与を受けることはできません。

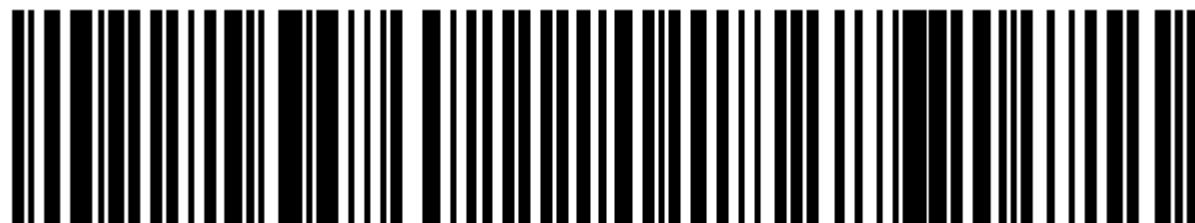
JAN企業コード

JAN企業コードは国コードを含め9桁と7桁があります。短縮タイプでは6桁になります。先頭の2桁は日本をあらわす国コードです。日本は45、49です。申請するアイテム数が5万点以上の場合、7桁のJAN企業コードが通知されます。なお、先頭の3桁を見ると、9桁JAN企業コードなのか、7桁JAN企業コードなのかを区別することができます。

456 ~ 459 → 9桁JAN企業コード
450 ~ 455 → 7桁JAN企業コード
490 ~ 499 → 7桁JAN企業コード

GS1(GTIN14)コード

見 本



(01)14938365260100(17)120930(10)2D

<u>表示項目</u>	<u>(AI)</u>	<u>表 示 内 容</u>
商品コード	(01)	1=梱包インジケータ 4938365=JAN メーカーコード 26010=アイテムコード 0=チェックデジット
有効期限/使用期限	(17)	120930=有効期限 2012年9月30日
ロット番号	(10)	2D=ロット番号

GS1アプリケーション識別子

GS1アプリケーション識別子とは

GS1が標準化した、さまざまな情報の種類とフォーマット(データの内容、長さ、および使用可能な文字)を管理する2桁から4桁の数字のコードです。商品製造日、ロット番号などのデータの先頭に付けて使用します。アプリケーション識別子は、英語名称のApplication(アプリケーション) Identifier(アイデンティファイア)の頭文字をとって、**AI**(エーアイ)とも呼ばれます。AIを使うと、商品識別コードやさまざまな属性情報を、どこの誰とどのシステムとの間でも共通化された方式で、バーコード化して伝達することができます。



(01)04912345678904(17)080425(10)12345

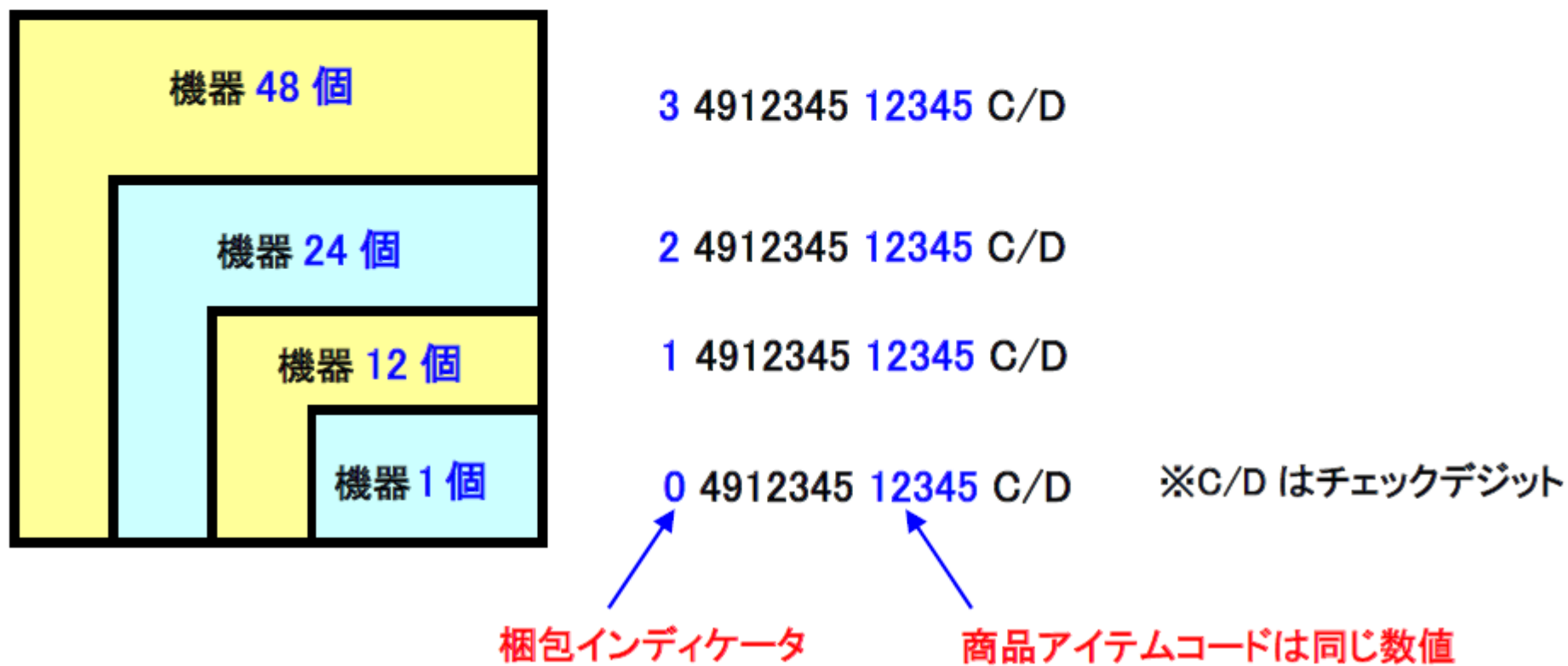
商品識別コード(GTIN)のAI

有効期限日のAI

ロット番号のAI

「一致型」とは

下図のように梱包別に GTIN をラベル等で表示する場合、一致型とは、商品アイテムコードの数值(12345)が荷姿に関わらず、一致していることを意味する。個装(最小包装単位)の梱包インディケータは必ず「ゼロ“0”」である。データは、14桁全体で識別する。



「不一致型」とは

下図のように梱包別に GTIN をラベル等で表示する場合、不一致型とは、商品アイテムコードが、荷姿ごとに数値が違ふ、一致していないことを意味する。不一致型の梱包インディケータは必ず「ゼロ“0”」に設定するルールである。データは、14桁全体で識別する。

